

	セリフ体	サンセリフ体	教科書体
非 UD フォント	MS P 明朝	MS P ゴシック	HGS 教科書体
	游明朝	メイリオ	
	ヒラギノ明朝	ヒラギノ角ゴシック	
	Times New Roman	Arial	
	Century	Helvetica	
UD フォント	BIZ UDP 明朝	BIZ UDP ゴシック	UD デジタル教科書体 NP-R

表 フォント

以前はメイリオを使っていたのですが，最近はBIZ UDPゴシックを愛用しています。私はBIZ UDPゴシックのほうが読みやすい気がしていますが，皆さんはどうですか？

グラデーション

- ・グラデーションをかけるとスライドの上部と下部でフォントと背景のコントラストに差が出てしまつて，見にくくなります。
- ・グラデーションをかけるとスライドの上部と下部でフォントと背景のコントラストに差が出てしまつて，見にくくなります。
- ・グラデーションをかけるとスライドの上部と下部でフォントと背景のコントラストに差が出てしまつて，見にくくなります。
- ・グラデーションをかけるとスライドの上部と下部でフォントと背景のコントラストに差が出てしまつて，見にくくなります。

図1 グラデーション

スライド上部より下部のほうが背景と文字のコントラストがはっきりしているので，スライドを上から下に読んでいくと下部のほうが重要そうな印象になることも。

私はこの組み合わせをよく使います。

メインカラー

- ・基本の文字色
- ・アクセントカラー

メインカラー

- ・基本の文字色
- ・アクセントカラー

同系色

メインカラー

- ・基本の文字色
- ・アクセントカラー

メインカラー

- ・基本の文字色
- ・アクセントカラー

色相が遠い

図2 メインカラーとアクセントカラー

メインカラーとアクセントカラーを同系色にするとスライドにまとまりが出ますし，色相が遠いものを使うと強調したいところがよりわかりやすくなります。なお，色の見え方には多様性があるため，多様性に対応した配色もぜひ参考にしてください³⁾。

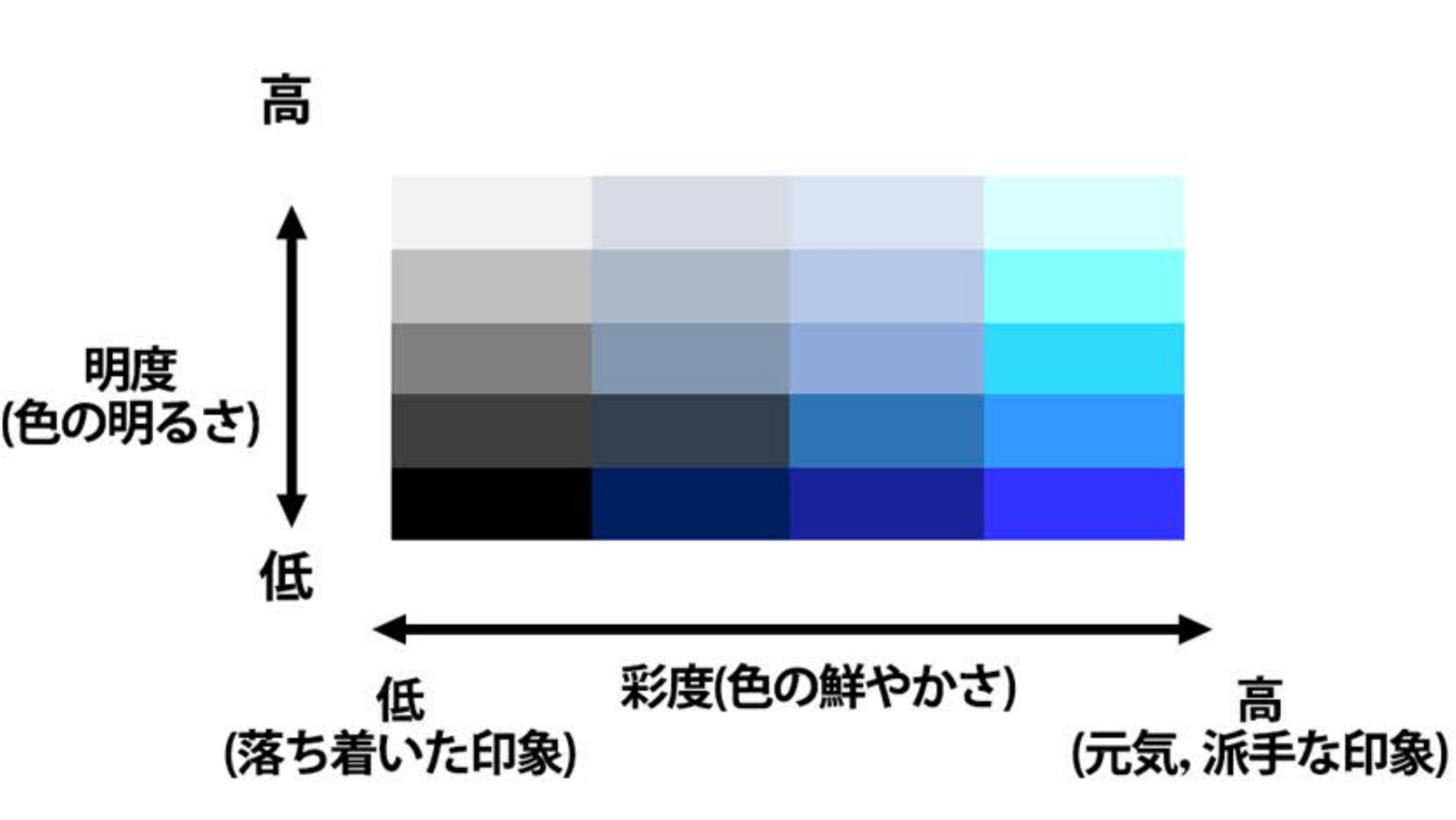


図3 青色の明度と彩度

彩度が高い青を選ぶとはっきりした元気な印象になり，彩度を落とした青を選ぶと落ち着いた印象を受けます。また青色の同系色でスライドをまとめる際は，アクセントカラーを彩度・明度共に高めの青，メインカラーを明度が低めの青にすると良いでしょう。

今日扱うトピック

- ・スライドのサイズは4:3に
- ・読みやすいフォント選び
- ・スライドやフォントの配色
- ・メインカラーとアクセントカラー
- ・視認性とコントラストを意識して配色を決める
- ・配色で自分を印象づける
- ・設定を固定する

図4 コントラストの差を利用したスライド

トピックの区切りにこういったスライドを入れるのも効果的です。トピック一覧の中で，どこが今扱っている部分なのかがわかりやすくなります。

白地に黒

- ・背景と文字のコントラスト(濃淡)が一番強い組み合わせ。

白地に濃紺

- ・少しコントラストがマイルドになる。

白地に濃いグレー

- ・少しコントラストがマイルドになる。

白地に淡いグレー

- ・コントラストの差がなさ過ぎて逆に読みにくい。

図5 文字色と背景のコントラスト

真っ黒の文字よりも少し明度を上げたグレーや濃紺は，視認性は保たれるものの少しだけ目に優しい印象があります。